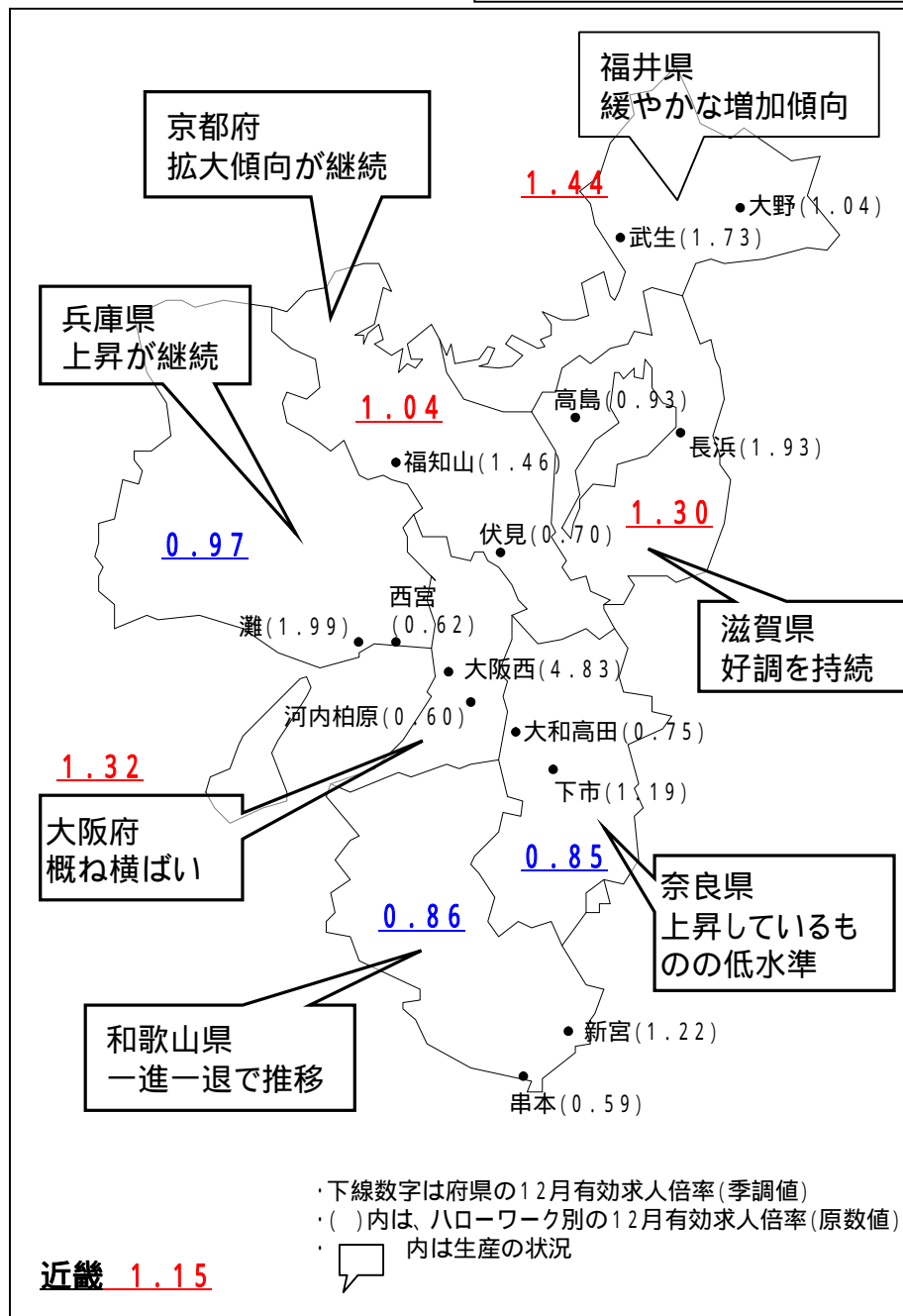


近畿経済産業局管内の経済動向



近畿地域の経済は、改善している。

1. 全体の動向

生産は横ばい、個人消費も横ばい傾向で推移しているものの、輸出が好調に推移し、設備投資も増加、雇用も緩やかに改善するなど、引き続き改善している。

2. 個別の動向

生産 ~ 横ばい。~

設備投資の増加や好調な輸出を背景に高水準であるが、上昇傾向にやや一服感がみられ、横ばい。

設備投資 ~ 積極的な企業が多く、増加している。~

製造業では、積極的な能力増強投資の動きが継続。非製造業では、発電所の建設や百貨店の建て替え・増床、大型複合商業施設の新規立地など、引き続き積極的。

雇用情勢 ~ 緩やかに改善している。~

一部に必要な人材の採用が困難となるなど、緩やかに改善。

個人消費 ~ 横ばい傾向~

デジタルAV機器等が好調に推移するものの、暖冬から冬物の売れ行きが鈍り、全体としては横ばい傾向。

3. 地域経済のトピックス

日銀による金利追加利上げの影響については、45%の企業が現在又は将来にマイナスの影響があると懸念。

銅、アルミなど原材料の高騰は、製品価格への転嫁ができない中小企業の収益減少要因。

観光については、外国人旅行者の増加や暖冬効果により、京都、奈良などの観光は好調。